

平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 20 年 2 月 14 日

上場会社名 株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング 上場取引所 J Q N E O
 コード番号 7774 URL <http://www.jp-te.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 洋介
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 大須賀 俊裕 TEL (0533) 66-2020

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の業績（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20 年 3 月期第 3 四半期	87 —	△783 —	△757 —	△758 —
19 年 3 月期第 3 四半期	— —	— —	— —	— —
19 年 3 月期	103	△973	△912	△916

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 3 四半期	△9,838 12	— —
19 年 3 月期第 3 四半期	— —	— —
19 年 3 月期	△13,269 45	— —

(注) 平成 19 年 3 月期第 3 四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、記載を省略しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 3 四半期	5,095	3,859	75.7	38,193 26
19 年 3 月期第 3 四半期	—	—	—	— —
19 年 3 月期	3,874	1,858	48.0	24,434 37

(注) 平成 19 年 3 月期第 3 四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、記載を省略しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 3 月期第 3 四半期	△738	△104	2,011	3,208
19 年 3 月期第 3 四半期	—	—	—	—
19 年 3 月期	△775	56	2,441	2,039

(注) 平成 19 年 3 月期第 3 四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、記載を省略しております。

2. 配当の状況

	1 株当たり配当金
(基準日)	年間
	円 銭
19 年 3 月期	0 00
20 年 3 月期 (予想)	0 00

3. 平成 20 年 3 月期の業績予想（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日） 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	132 28.1	△1,119 —	△1,105 —	△1,108 —	△13,337 81

(注) 平成 20 年 3 月期 (予想) の 1 株当たり当期純利益は、公募株式数を含めた予定期末発行済株式数を 101,045 株とした場合の期中平均株式数により算出しております。また、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資 (3,000 株) は失権により、募集株式を発行しないこととなりました。なお、潜在株式が存在いたしますが、当算定には含まれておりません。

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における我が国経済は、雇用情勢に厳しさが残り、個人消費もおおむね横ばいであるものの、堅調な企業収益を受けて設備投資が増加し、景気は緩やかな回復傾向にありました。一方、米国のサブプライム住宅ローン問題や原油価格の高騰などの先行き不透明な状況も続いております。

このような環境の下、当社は、引き続き再生医療製品事業として、自家培養表皮、自家培養軟骨、自家培養角膜上皮の開発を進めてまいりました。自家培養表皮ジェイスについては、平成19年10月に日本初のヒト細胞・組織を利用した医療機器として、厚生労働省から製造承認を取得しました。また、保険収載を目的として、平成19年11月に保険適用希望書を厚生労働省に提出しました。平成19年3月に独立行政法人医薬品医療機器総合機構に治験終了届書を提出した自家培養軟骨は、製造販売承認申請の提出に向けて準備を進めています。自家培養角膜上皮に関しては、厚生労働省に対して平成19年5月に治験前の確認申請を提出し、適合に向けての審査が行われております。

研究開発支援事業については、研究用ヒト培養組織 LabCyte EPI-MODEL（ラボサイト エピ・モデル）と LabCyte MELANO-MODEL（ラボサイト メラノ・モデル）の既存顧客である化粧品、製薬、化学薬品の各メーカーならびに安全性試験受託機関等への売上拡大を図る一方で、新規顧客の開拓を行いました。

こうした結果、当第3四半期における売上高は87,040千円となりましたが、再生医療製品事業にかかる研究開発投資や減価償却費負担等から経常損失は757,452千円となり、四半期純損失は758,873千円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における現金及び現金同等物は、前事業年度末と比べて1,168,885千円増加し、3,208,163千円となりました。

当第3四半期のキャッシュ・フローの概況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、本社工場に係る減価償却費が79,115千円となったものの、税引前四半期純損失が756,023千円となり、△738,657千円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入460,650千円があったものの、定期預金の預入による支出560,650千円があったため、△104,107千円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期および長期借入金の返済による支出1,148,350千円があったものの、ジャスダック証券取引所上場に際して行った株式の発行による収入2,760,000千円及び短期借入れによる収入400,000千円があったため、2,011,650千円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績は計画通り推移しているため、平成19年12月21日公表の「平成20年3月期 中間決算短信」における業績予想の見直しは行っておりません。

ただし、1株当たり当期純利益について、予定期末発行済株式数で除す方法から、期中平均株式数で除す方法に変更しております。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

影響額が僅少なものについて、一部簡便な手続きを採用しております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

当事業年度より法人税法の改正（(所得税法等の一部を改正する法律 平成19年3月30日 法律第6号)及び(法人税法施行令の一部を改正する政令 平成19年3月30日政令第83号)）に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産の減価償却の方法については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

また、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産について、償却可能限度額まで償却が終了した翌年から5年間で均等償却する方法によっております。

なお、これによる売上総利益、営業損失、経常損失、税引前四半期純損失、四半期純損失に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成18年12月31日)	当四半期末 (平成19年12月31日)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	—	3,768,813	—	—	2,499,928
2 受取手形	—	162	—	—	—
3 売掛金	—	6,770	—	—	18,144
4 たな卸資産	—	37,848	—	—	36,712
5 その他	—	49,124	—	—	36,891
流動資産合計	—	3,862,719	—	—	2,591,676
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物	—	820,020	—	—	869,252
(2) 機械及び装置	—	91,114	—	—	104,523
(3) 土地	—	240,508	—	—	240,508
(4) その他	—	41,989	—	—	50,340
有形固定資産合計	—	1,193,632	—	—	1,264,624
2 無形固定資産	—	3,043	—	—	2,162
3 投資その他の資産	—	10,694	—	—	10,859
固定資産合計	—	1,207,370	—	—	1,277,645
III 繰延資産	—	25,869	—	—	5,034
資産合計	—	5,095,959	—	—	3,874,356

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成18年12月31日)	当四半期末 (平成19年12月31日)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形	—	34,687	—	—	23,142
2 短期借入金	—	400,000	—	—	1,100,000
3 一年以内返済予定の 長期借入金	—	96,700	—	—	96,700
4 賞与引当金	—	20,863	—	—	32,712
5 その他	—	122,245	—	—	170,962
流動負債合計	—	674,496	—	—	1,423,518
II 固定負債					
1 長期借入金	—	483,500	—	—	531,850
2 役員退職慰労引当金	—	59,200	—	—	40,500
3 その他	—	19,524	—	—	20,377
固定負債合計	—	562,224	—	—	592,727
負債合計	—	1,236,721	—	—	2,016,245
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	—	5,543,150	—	—	4,163,150
2 資本剰余金					
(1) 資本準備金	—	3,373,150	—	—	1,993,150
資本剰余金合計	—	3,373,150	—	—	1,993,150
3 利益剰余金					
(1) その他利益剰余金					
繰越利益剰余金	—	△5,057,061	—	—	△4,298,188
利益剰余金合計	—	△5,057,061	—	—	△4,298,188
株主資本合計	—	3,859,238	—	—	1,858,111
純資産合計	—	3,859,238	—	—	1,858,111
負債純資産合計	—	5,095,959	—	—	3,874,356

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	当四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	増 減		(参考) 前期 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	—	87,040	—	—	103,365
II 売上原価	—	80,856	—	—	114,336
売上総利益	—	6,183	—	—	—
売上総損失	—	—	—	—	10,971
III 販売費及び一般管理費	—	789,886	—	—	962,858
営業損失	—	783,702	—	—	973,830
IV 営業外収益	—	56,763	—	—	107,299
V 営業外費用	—	30,512	—	—	46,137
経常損失	—	757,452	—	—	912,668
VI 特別利益	—	1,500	—	—	—
VII 特別損失	—	71	—	—	—
税引前四半期(当期)純損失	—	756,023	—	—	912,668
法人税、住民税及び事業税	—	2,850	—	—	3,772
四半期(当期)純損失	—	758,873	—	—	916,441

(3) (要約) 四半期株主資本等変動計算書

当四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
		資本準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金		
平成19年3月31日残高	4,163,150	1,993,150	△4,298,188	1,858,111	1,858,111
当四半期の変動額					
新株の発行	1,380,000	1,380,000		2,760,000	2,760,000
四半期純損失			△758,873	△758,873	△758,873
当四半期の変動額合計	1,380,000	1,380,000	△758,873	2,001,126	2,001,126
平成19年12月31日残高	5,543,150	3,373,150	△5,057,061	3,859,238	3,859,238

(参考) 前期 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
		資本準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金		
平成18年3月31日残高	3,441,350	1,271,350	△3,381,747	1,330,952	1,330,952
事業年度中の変動額					
新株の発行	721,800	721,800		1,443,600	1,443,600
当期純損失			△916,441	△916,441	△916,441
事業年度中の変動額合計	721,800	721,800	△916,441	527,158	527,158
平成19年3月31日残高	4,163,150	1,993,150	△4,298,188	1,858,111	1,858,111

(4) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	前年同四半期 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 12 月 31 日)	当四半期 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 12 月 31 日)	(参考) 前期 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税引前四半期(当期)純損失	—	△756,023	△912,668
2 減価償却費	—	79,115	123,240
3 賞与引当金の増減額(△:減少額)	—	△11,849	6,639
4 役員退職慰労引当金の増減額(△:減少額)	—	18,700	11,400
5 受取利息及び受取配当金	—	△2,580	△654
6 支払利息	—	25,990	34,425
7 為替差損	—	—	74
8 売上債権の増減額(△:増加額)	—	11,212	△10,477
9 たな卸資産の増減額(△:増加額)	—	△1,135	△10,311
10 仕入債務の増減額(△:減少額)	—	11,545	△3,018
11 未払金の増減額(△:減少額)	—	△5,065	14,777
12 前受収益の増減額(△:減少額)	—	△52,431	12
13 未払消費税等の増減額(△:減少額)	—	509	△1,974
14 その他	—	△48,214	19,456
小計	—	△730,227	△729,078
15 利息及び配当金の受取額	—	2,355	594
16 利息の支払額	—	△12,646	△44,654
17 法人税等の支払額	—	1,861	△2,262
営業活動によるキャッシュ・フロー	—	△738,657	△775,400
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 定期預金の預入による支出	—	△560,650	△981,450
2 定期預金の払戻による収入	—	460,650	1,051,625
3 有形固定資産の取得による支出	—	△2,713	△13,747
4 無形固定資産の取得による支出	—	△1,250	—
5 その他	—	△144	△341
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	△104,107	56,086
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 短期借入れによる収入	—	400,000	1,800,000
2 短期借入金の返済による支出	—	△1,100,000	△700,000
3 長期借入金の返済による支出	—	△48,350	△96,700
4 株式の発行による収入	—	2,760,000	1,438,466
5 新株予約権の発行に伴う支出	—	—	△145
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	2,011,650	2,441,620
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	△72
V 現金及び現金同等物の増減額(△:減少額)	—	1,168,885	1,722,234
VI 現金及び現金同等物の期首残高	—	2,039,278	317,043
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	—	3,208,163	2,039,278